

競 技 注 意 事 項

1. 大会運営について

- (1) 2022 仙台市陸上競技協会ガイドラインに従って運営する。
- (2) 競技役員、選手、チーム関係者のみ競技場への入場を認める。
一般の観戦者、応援者の入場はできない。
- (3) 入場者は別途定める感染予防に従って入場すること。
- (4) 災害、感染状況などで急遽大会が中止せざる得ない場合がある。その際の参加料の返金はしない。

2. 招集について

- (1) 招集場所は、第1ゲート（100m スタート地点）とする。
- (2) 競技開始時間を基準として招集完了時刻までに招集所において本人がアスリートビブスなどのチェックをうける事。(1500m 以上のトラック種目は、腰ナンバーを受け取る。ゴール後、返却すること。)
- (3) 最終コールは各自移動してトラックはスタート地点、フィールドはピットとする。
- (4) リレーのオーダー用紙は招集所で配布する。第1組目の招集完了時間1時間前までに招集所に提出する事。
- (5) 招集完了時刻、最終コール、オーダー用紙提出の時間に遅れた場合は棄権したものととして処理される。(競技の進行が早まる場合はその都度アナウンスがあるので注意すること。)
- (6) 招集時間は下記のとおりとする。

	招集完了時刻	最終コール時刻(現地)
トラック	20 分前	10 分前
跳 躍	40 分前	20 分前
投てき	50 分前	40 分前

3. 練習について

- (1) 本トラックでの練習は、競技開始 20 分前まで開放する。その他については競技場の外周及び競技場内で競技に支障をきたさない範囲において引率者又は自己の責任において練習すること。
- (2) 雨天走路での練習は、原則すべて禁止する。但し、雨天時は別途指示する。
- (3) 投てき競技種目の練習は、投てきピットのみとし、それ以外での練習は禁止する。

4. アスリートビブスについて

- (1) 各競技者は、プログラムに記載された番号と同じアスリートビブスをユニフォームの胸部または背部に付ける。男子白地×黒 女子白地×赤
- (2) 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか片方でよい。
- (3) 1500m 以上の競技に出場する競技者は腰ナンバーカードをパンツの右側後方に付ける。腰ナンバー標識は招集所で配布する。ゴール後必ず返却すること。

5. 競技について

- (1) 2022 日本陸上競技連盟規則、本大会申し合わせ事項により実施する。
- (2) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。また、地震などの自然災害やJアラート発動、感染状況によっては競技を中断又は中止する場合がある。
- (3) トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに競技役員以外は立ち入ることはできない。

- (4) 男女 100M 上位者(中学男女 24 名高校男女 16 名)による第 2 次レースを実施します。
- (5) 競技者がレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内への持ち込み、使用しての助力は許されない。通信機能付の腕時計を装着する場合は通信機能をオフにしておくこと。
- (6) 走幅跳、砲丸投は 3 回の試技で実施する。
- (7) 走高跳におけるバーの上げ方は以下のとおりとする。練習の高さについては審判の指示に従う事

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後
中学女子		1.20	1.25	1.30	1.35	1.38	1.41	1.44	3 cm
中学男子		1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	1.58	3 cm
高校女子		1.30	1.35	1.40	1.43	1.46	1.49	1.51	3 cm
高校男子		1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.78	1.81	3 cm

6. スパイク (シューズ) の制限について

- (1) WA 承認シューズリストのシューズを着用していることを前提とし、召集所や選手受付などで、参加者全員のシューズチェックを行わない。ただし、審判、審判長の権限により、いつでもシューズチェックをすることができ、参加者はその指示に従わなければならない。明らかに規則違反のシューズや疑義のあるシューズは、チェックや回収の対象になることがある。万が一レース後に違反が認められた場合には、失格となり記録が取り消される場合がある。
- (2) スパイクピンの数は 11 本以内とする。また、スパイクピンの長さは 9mm 以内とする。走高跳については 12mm 以内とし、先端の直径は 4mm 以内でなければならない。
- (3) 陸連規則 1 4 3 条 (TR5 : 規格外シューズ) に伴い、規定外のシューズは使用できない。但しフィールド競技は適用外とする。

7. 抗議について

競技の結果または行為に関する抗議は、その競技種目の結果の正式通告後30分以内に、競技者自身または代理人(顧問または監督)が審判長に対して口頭で申し出なければならない。その競技者に代わる責任者(顧問または監督)が、競技者によって署名された文書と預託金10,000円を添えて本大会総務へ正式な上訴の手続きをとる。

8. その他

- (1) 競技場前駐車場は役員専用とし駐車券が必要とする。その他は各所属 1 台 JR 跡地が使用できる。
- (2) 応急措置、その他健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡すること。救護場所は雨天走路に設置する。応急措置は行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 駐車場 7:30 開門時間 8:30 開門するゲートは制限されるので注意する事。
- (4) 競技場内にテントを設置する場合は、芝生スタンドのみとする。雨天走路、更衣室を待機場所としての使用を禁止する。
- (5) 置き引き、盗難等の発生する恐れがあるので各自持ち物(自転車も含む)および貴重品管理には十分に注意する
- (6) 地震など緊急時における避難場所はフィールド中央とする。事前に弘進ゴムアスリートパーク仙台の避難場所を確認すること。